



大阪有機化学工業株式会社  
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.  
のびゆく力、未来へ

# 会社説明会および 2010年11月期 決算説明会資料

2011年1月17日



## 目次

- I. 2010年11月期連結決算 ----- p.3
- II. 2011年11月期連結業績予想 -- p.9
- III. 成長戦略・中期事業計画 ----- p.22

3

## I. 2010年11月期連結決算

4

### 業績概要(連結)

(百万円)

	09/11	10/11	増減	前年比
売上高	18,140	22,022	3,882	121%
営業利益	428	1,779	1,351	416%
経常利益	495	1,807	1,312	365%
当期純利益	△528	1,268	1,796	—

- 売上高:前年比121%
  - ・自動車、電子材料分野の市場回復により、販売増
- 営業利益、経常利益:前年比416%および365%
  - ・売上高の回復とコスト削減効果により増益

5

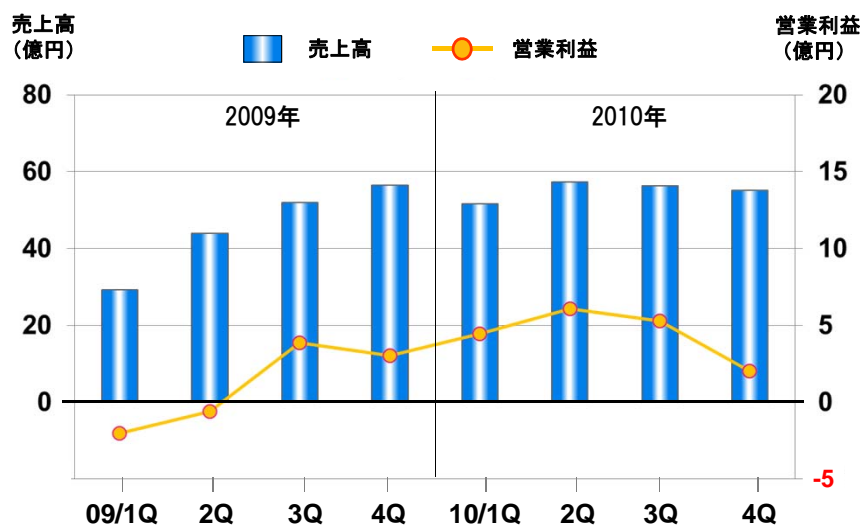
## 部門別売上高(連結)

(百万円)				
	09/11	10/11	増減	前年比
売上高	18,140	22,022	3,882	121%
エステル化製品部門	9,083	11,682	2,599	129%
特殊化学品部門	8,223	9,232	1,009	112%
営業利益	428	1,779	1,351	416%

- エステル化製品部門:前年比129%
  - ・アクリル酸エステル25%増。メタクリル酸エステル45%増。
- 特殊化学品部門:前年比112%
  - ・電子材料30%増。化粧品3%増。その他ファイン26%減。医薬中間体42%減。

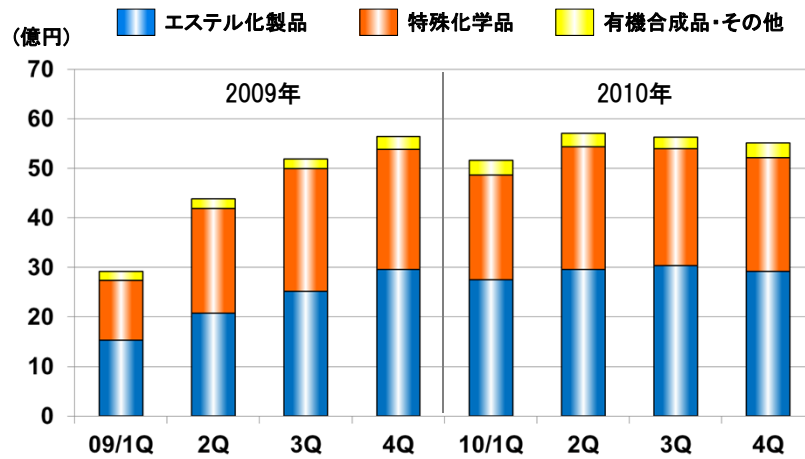
6

## 売上高と営業利益の四半期推移



7

## 部門別売上高の四半期推移



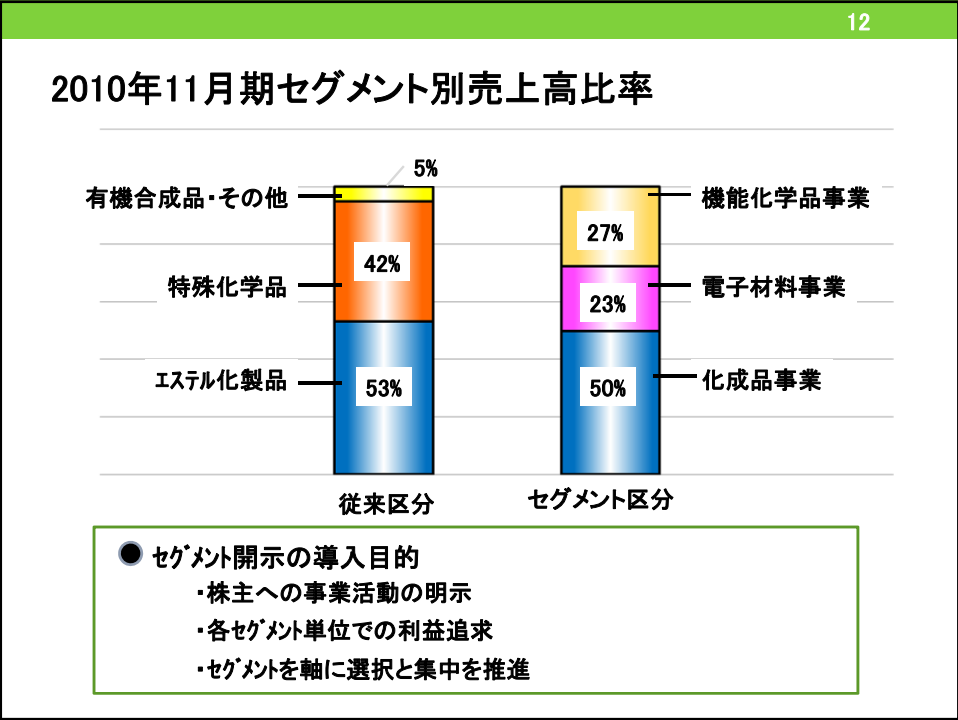
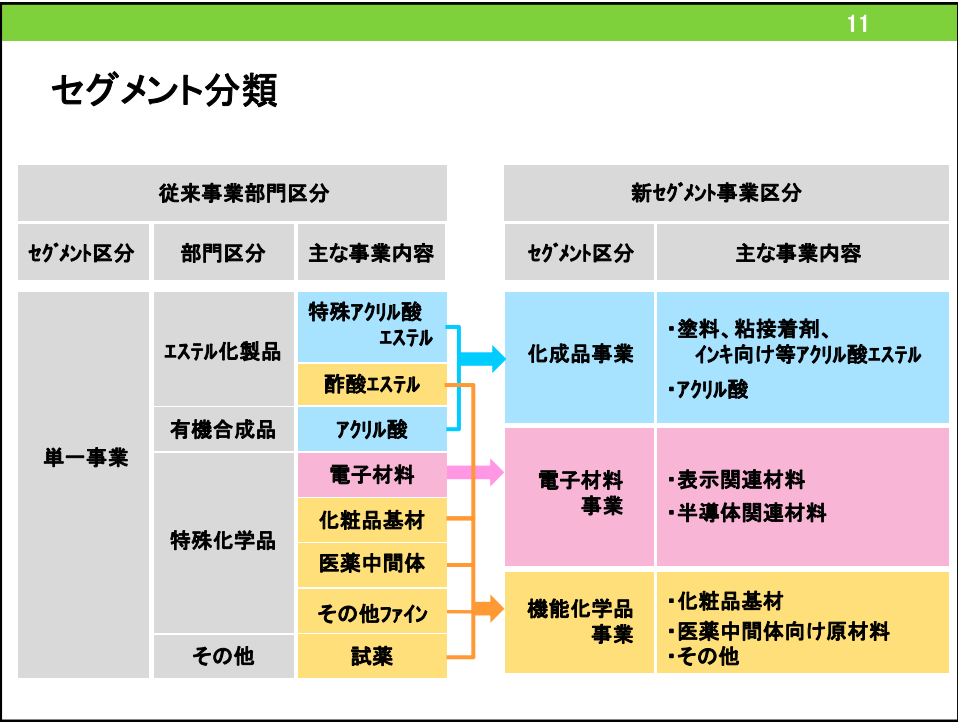
8

## 2010年11月期 業績まとめ

1. 2Qまで回復基調が継続
2. 3Qからは、液晶業界の低迷の影響で  
下降傾向

## II. 2011年11月期連結業績予想

1. セグメント開示の実施
2. 各セグメントの方針と目標
3. 研究開発強化
4. 2011年11月期の業績予想



## 化成品事業<方針と目標>

**基本方針** ● 持続成長のための安定収益基盤事業

**施策**

- 海外市場への拡販
- 生産性改善による競争力強化
- 自動車塗料・電子材料分野へ注力

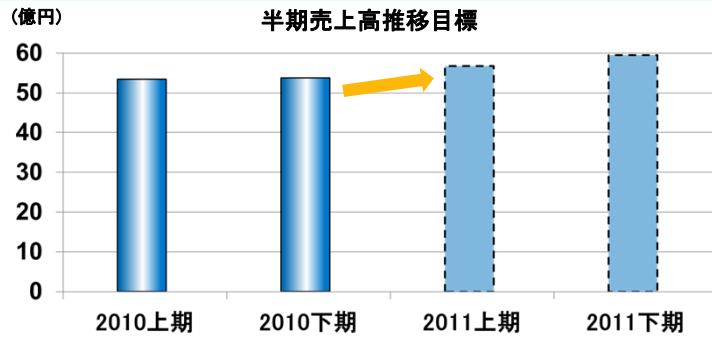


パソコン



自動車塗料

**目標**



## 化成品事業<生産性改善による競争力強化>

- 金沢・酒田工場への化成品事業製品の集約による生産合理化

大阪工場生産終了予定



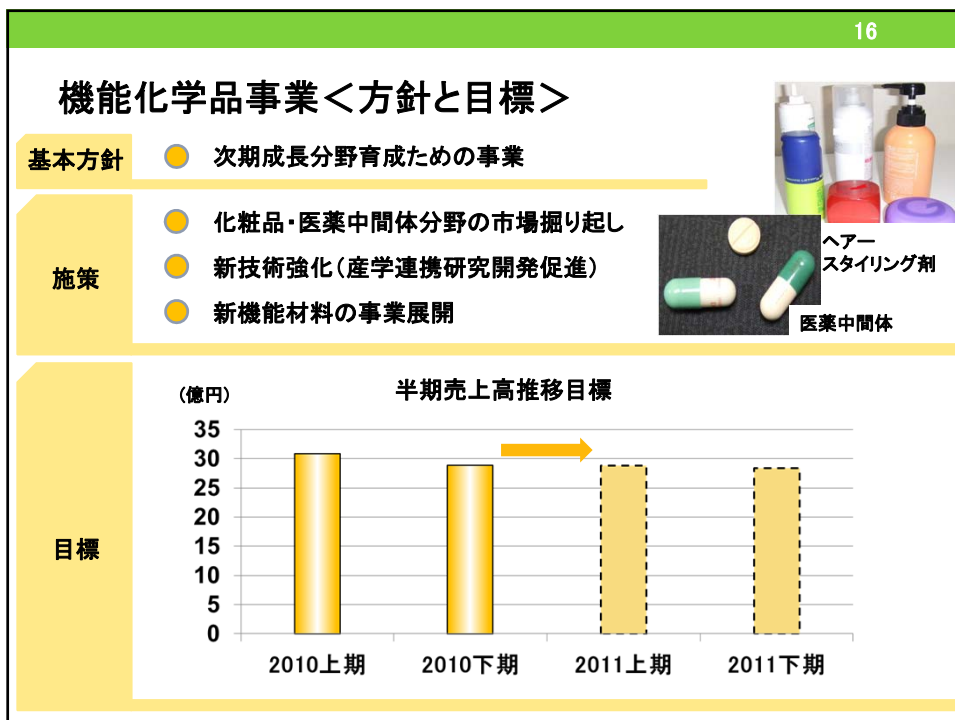
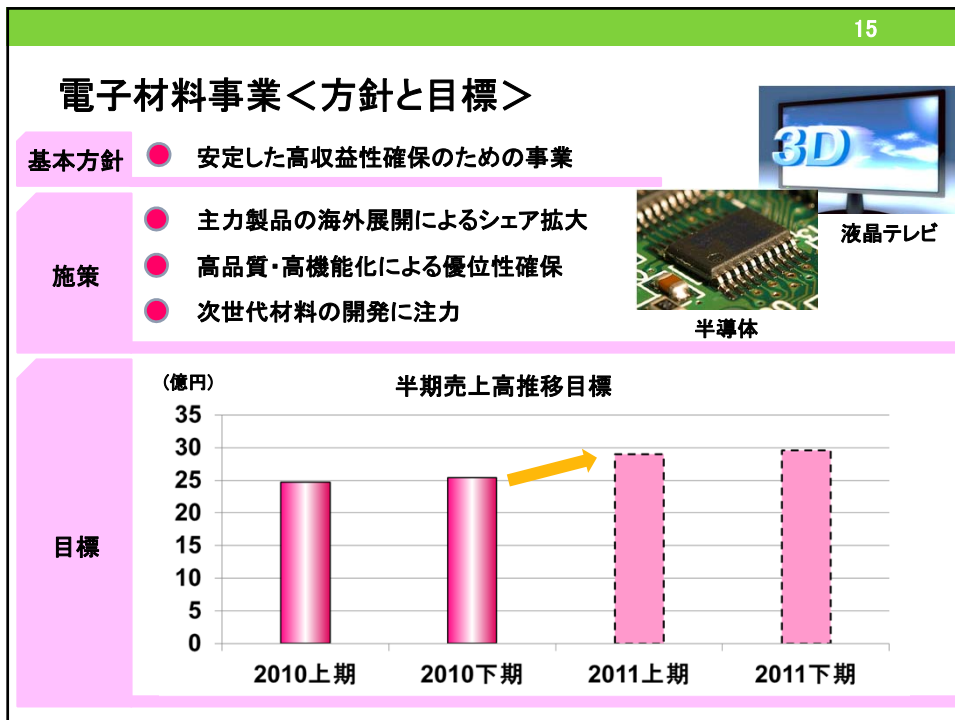
- 生産プロセス改善と新規プロセスへ



再整備中の大阪工場

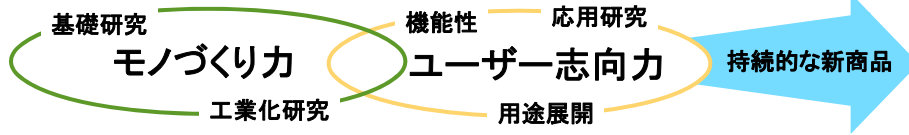


化成品事業集約の金沢工場





### 研究開発体制の強化



新研究棟を  
金沢工場に建設(2009/7月)

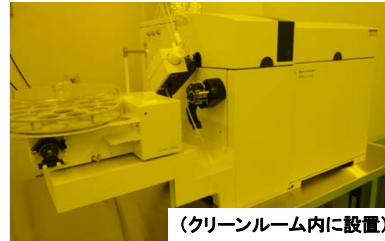


新パイロットプラント設備を金沢工場に建設 (2009/1月)

#### 機能評価・用途展開用分析機器の拡充

#### ICP-MS

電子材料開発に必須の金属分析装置



(クリーンルーム内に設置)

各種金属元素(例:鉄、ナトリウム)を  
1  
1兆 濃度 (ppt)まで検出できる分析機器

### 2011年11月期業績予想概要(連結)

(百万円)

	10/11	11/11	増減	前年比
売上高	22,022	23,235	1,213	106%
営業利益	1,779	1,901	122	107%
経常利益	1,807	1,882	75	104%
当期純利益	1,268	1,093	△175	86%

19

## 2011年11月期セグメント別業績予想概要(連結)

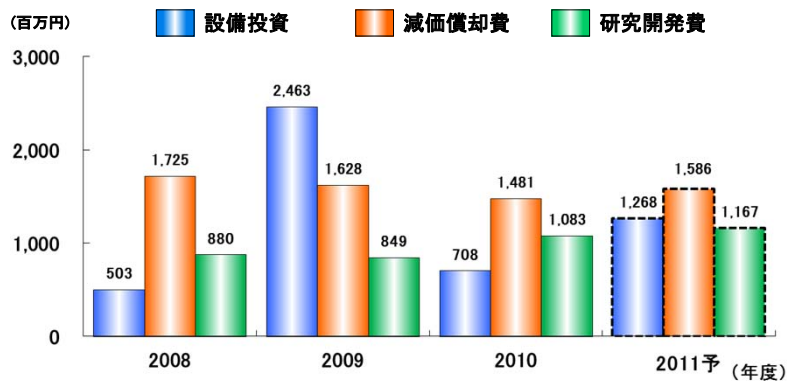
(百万円)

	10/11 注)	11/11	増減	前年比
<b>売上高</b>	22,022	23,235	1,213	106%
化成品事業	10,951	11,644	693	106%
電子材料事業	4,984	5,867	883	118%
機能化学品事業	6,086	5,724	△362	94%
<b>営業利益</b>	1,779	1,901	122	107%
化成品事業	619	714	95	115%
電子材料事業	881	988	107	112%
機能化学品事業	278	198	△50	81%

注) 事業単位金額においては、セグメント組替えでの概算値

20

## 設備投資・減価償却・研究開発費

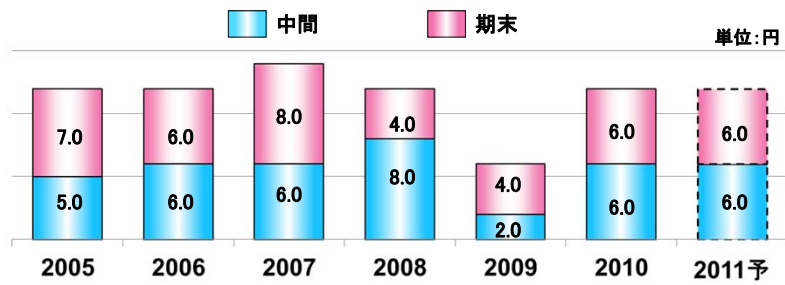


## ● 主な設備投資案件(2011/11月期)

- ・金沢工場 アクリル酸エステル製造設備(化成品事業生産集約対応)
- ・酒田工場 生産設備ユーティリティー拡張
- ・研究所 分析・試作機器等

## 一株当たり配当金

2011年度 年間配当 12円を予定  
(中間配当6円、期末配当6円)



### ● 利益配分に関する基本方針

配当額：業績や事業計画に備えた内部留保の充実等を勘案してバランスをとりつつ決定

内部留保：将来につながる新製品、新技術へ向けての研究開発投資や生産能力増強、合理化や高付加価値化へ向けての設備投資等の原資として活用

## III. 成長戦略・中期事業計画

23

## 成長戦略の基本軸

### 選択と集中による持続的な成長力の構築

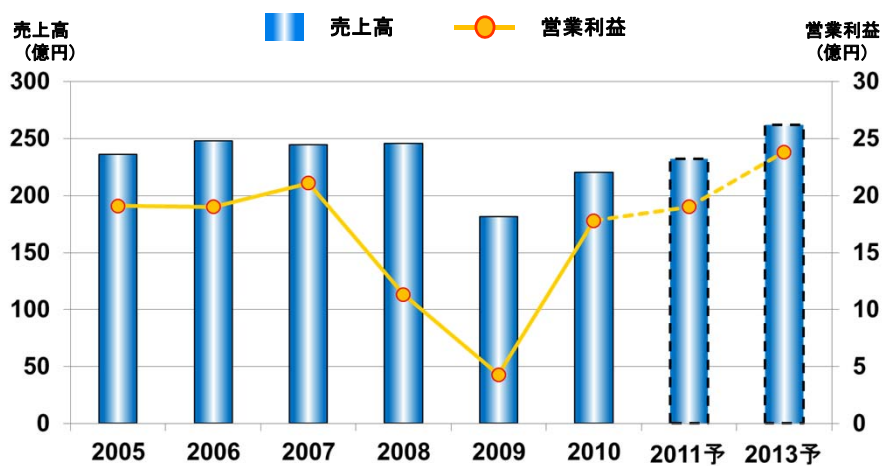
- 新製品開発のための技術力の強化
- 顧客の拡大及びマーケティングの充実
- 品質・コスト競争力の向上

### 会社の社会的責任の実現と株主価値の向上

- 安全・環境・コンプライアンスの重視
- コーポレートガバナンスの充実
- 財務体質の強化

24

## 当社の状況



25

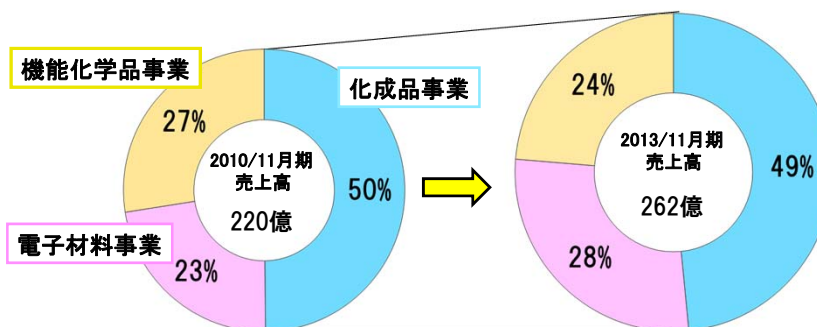
## 中期事業計画 収益目標(2013/11月期)

(百万円)

	13/11期目標値		10/11期比
	13/11期目標値	10/11期比	
売上高	26,171	22,022	119%
営業利益	2,381	1,779	134%
経常利益	2,381	1,807	132%
当期純利益	1,391	1,268	110%

26

## 中期事業計画 収益構造(2013/11月期)



### ● 中期事業計画の方針

- ・化成品事業の市場拡大
- ・電子材料事業の成長による収益の確保
- ・機能化学品事業の育成

### 中期事業計画 <設備投資・減価償却・研究開発費>

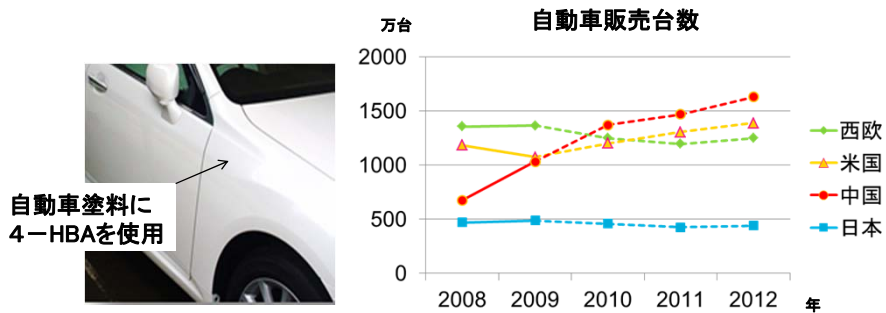
	過去3期計	3期累計予想	増減
	(08/11~10/11)	(11/11~13/11)	
設備投資	37	65	28
減価償却費	48	54	6
研究開発費	28	35	7

(億円)

● 主な設備投資

- ・大阪工場移管に伴う金沢工場・酒田工場への製造設備
- ・新製品の工業化に伴う製造設備
- ・パイロットプラント製造設備・分析機器
- ・福利厚生設備

### 中期事業計画 <自動車塗料用4-HBA設備増強>



中国自動車市場の拡大による需要増の見込み

酒田工場へ2500トン/年能力の製造設備を建設(投資額: 20億円)

工事計画

6月着工予定      2月完成予定      3月操業開始予定

2011年      2012      2013      2014

29

## 中期事業計画 化成品事業

**事業環境**

- ・国内産業の景気停滞
- ・市場の中心はアジアへ。販売は海外、製品開発は国内。

---

**中長期の展開**

<事業の強み>

- ・アクリル酸エステルの豊富なラインナップ
- ・アクリル酸エステル製造技術の蓄積

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外市場への拡販強化</li> <li>● 製造拠点の集約・プロセス改善</li> <li>● 用途の多様化</li> </ul>	競争力のある製品をより強く	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>基盤事業としての強化</b> </div>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新製品開発</li> <li>● 新規製造プロセスへ</li> </ul>	新市場開拓	

30

## 中期事業計画 電子材料事業

**事業環境**

- ・液晶ディスプレイ、半導体を用いたデバイス生産は韓国、台湾、中国が中心。生産材料は国内。
- ・光(UV)硬化プロセスがキープロセス
- ・市況による変動と短い技術サイクル

---

**中長期の展開**

<事業の強み>

- ・光硬化プロセスのキー材料であるアクリル酸エステル、ポリマーの開発～生産を一貫して行える
- ・高度な品質管理実績

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外展開強化 マーケティング・技術サポート</li> <li>● さらなる高品質化 他社との差別化</li> </ul>	量的拡大	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>安定した高収益確保</b> </div>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次世代材料開発 タッチパネル用材料・3DTV材料 ・次世代レジスト材料</li> </ul>	市場をリードする材料	

31

## 中期事業計画 機能化学品事業

**事業環境**

- ・成熟製品の見直し
- ・化粧品市場は、ファッションの多様化とアジア圏の購買力向上
- ・酢酸エステル・特殊溶剤は、高機能溶剤用途にシフト

---

**中長期の展開**

<事業の強み>


- ・機能性アクリルポリマーの設計技術
- ・精密有機合成技術と精製技術

● 化粧品・医薬中間体分野の市場掘り起し	強みを生かした分野展開	<b>次期成長分野開拓</b>
● 新規機能材料の開発	新規市場開拓	


32

## 中期事業計画の市場・用途


化成事業




自動車塗料



コーティング剤



記録メディア




パソコン



インキ・粘接着剤

海外市場展開に注力


電子材料事業



液晶スペーサーレジスト



カラーフィルター



半導体

将来展開分野



3Dテレビ



タッチパネル

16





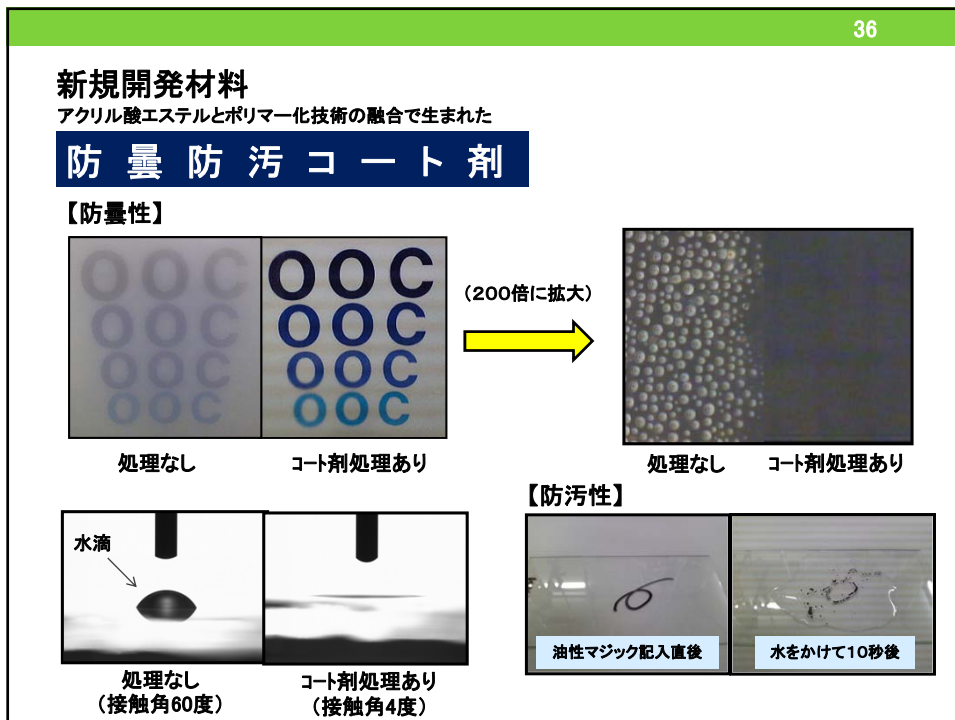
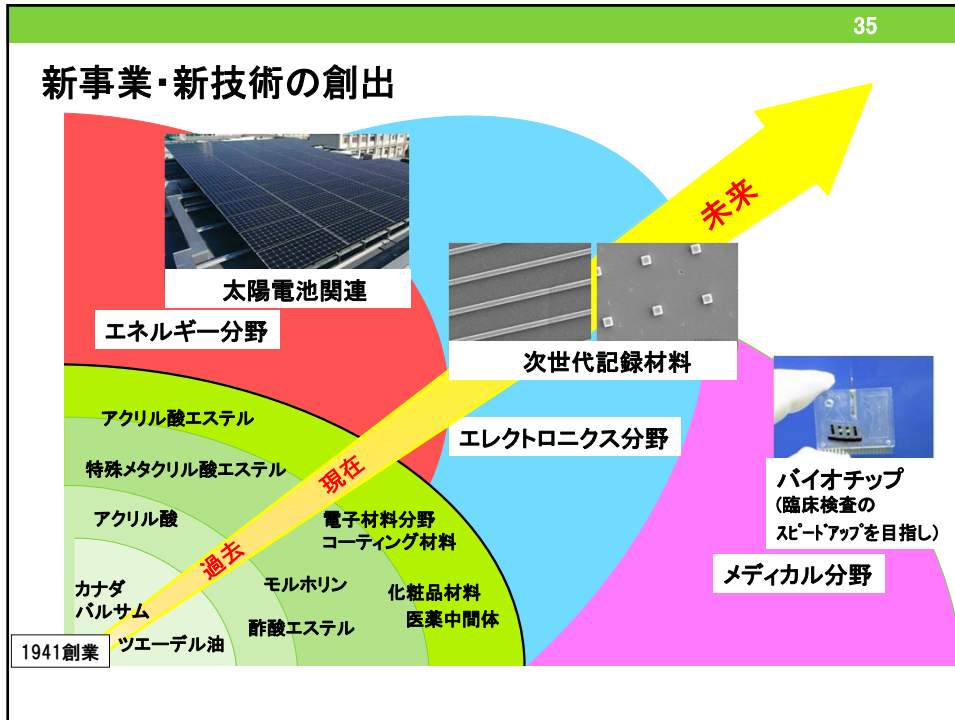
34

**環境保全（廃棄物の資源化）**

2009年11月より稼動開始

- ・ボイラーとして蒸気の活用
- ・熱の回収利用
- ・有価金属の回収
- ・共同開発による特許化  
(特許公報; 2008-051431)



37

## 新規開発材料

アクリル酸エステルのメーカーだからできた

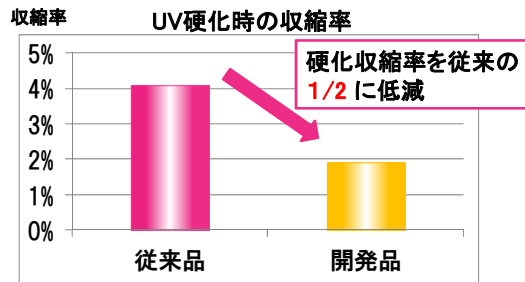
### 超低収縮アクリル酸エステル

高分子学会主催

2010年ポリマー材料フォーラム(名古屋)

優秀発表賞受賞

従来のアクリル酸エステルではフィルムなどの柔らかい材料へコーティングすると硬化時の収縮で変形を起こす問題を改善。



応用が期待できる用途



フィルムへのコーティング



フレキシブルディスプレイ

38



大阪有機化学工業株式会社  
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.

のびゆく力、未来へ

本資料の予想数値等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の内容と異なる場合があります。したがって、いかなる確約や保証を行うものではありません。

39

## ご参考資料1 比較連結貸借対照表

(百万円)

	09/11末	10/11末	増減	備考
資産合計	26,387	28,912	2,524	
流動資産	12,342	14,733	2,391	現金及び預金の増加
有形固定資産	10,533	9,766	△767	有形固定資産の減少
投資その他の資産	3,509	4,397	888	長期預金の増加
負債合計	7,695	9,226	1,531	
流動負債	4,667	6,447	1,780	1年返済予定の長期借入金、未払金、未払法人税等の増加
固定負債	3,028	2,778	△250	
純資産合計	18,692	19,686	994	利益剰余金の増加
少数株主持分	151	158	7	
負債純資産合計	26,387	28,912	2,525	

40

## ご参考資料2 キャッシュ・フロー(連結)

(百万円)

項目	09/11	10/11	備考
営業活動による キャッシュフロー	2,099	3,241	減価償却費の減少、棚卸資産増加
投資活動による キャッシュフロー	△2,825	△1,913	有形固定資産の取得による支出、投資有価証券取得による支出
財務活動による キャッシュフロー	1,271	89	長期借入による収入
現金及び現金同等物の 増加額	545	1,417	
現金及び現金同等物の 期首残高	1,748	2,293	
現金及び現金同等物の 期末残高	2,293	3,711	